販促アイデアグランプリ2019　34社が独自開発した販促アイデア商品を披露へ

経営戦略のヒントを掴む場へ

5月31日から2日間、大阪市住之江区のインテックス大阪5号館で開催されるJP産業展協会主催による「JP2019・ICTと印刷展」に併せて「販促アイデアグランプリ2019」が販促アイデア協議会（瀧本正明会長）の協力を得て実施される。

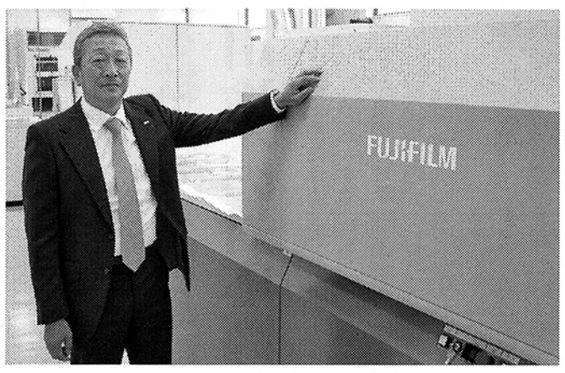
現在の販売促進市場は、日本経済が景気回復の流れの中で今までとは違う新しい販促戦略が求められるようになり、消費者の購買意欲を高め、さらなる消費行動を後押し、顧客との接点もより深いものとすることが重要視されている。このような新たな課題を解決するために、「JP2019・ICTと印刷展」と同時併催される「販促アイデアグランプリ2019」では、34社の参加企業から集客・販売を支援する多彩なセールスプロモーションツール（SPツール）、最先端の印刷技術、多くのPOP関連商材など、最新のSP関連商材が展示されるとともに、会期中には成功事例発表会などを通じて来場者に情報提供していく。

同イベントの開催によって出展各社にとって一層の販売拡大につながるとともに、来場者にとっては自社の経営戦略のヒントを模索する場となり、双方にとってプラスとなるコラボレーションに発展すれば印刷業界全体の活性化を促すものと期待されている。本紙では「販促アイデアグランプリ2019」に参加する企業の出展内容を随時紹介していく。

出展企業は次の通り。

アシダコーポレーション、アシヤ印刷、圧着ハガキファクトリー、アドプリント、淡路印刷、栄光、エビス、大阪シーリング印刷、大阪府印刷工業組合、オンデオマ、オンデマンド印刷、笠間製本印刷、加藤製本、感動会社楽通、キャンバス、共進ペイパー&パッケージ、甲南堂印刷、サンクラール、太成二葉産業、大創、デジタルグラフィック、D・D・S・S・、長瀬印刷、日本アーツ、ハタヤ、兵田印刷工芸、ファビオ、松浦紙器製作所、緑屋紙工、メイセイプリント、やまとカーボン社、米谷、リマージュジャパン、レインボーオフィスサポート

兵田印刷工芸　クロスメディア展開を実践　想像性の高い仕事で差別化



インクジェットデジタル印刷機の導入効果に確かな手応えを示す兵田社長

兵田印刷工芸株式会社は、B2サイズ可変ポスター「レンポス」を中心に、オリジナル汎用アプリ「ARUNO」、ターゲット名刺、アンケートポスター、ホームページ制作といった「マーケティング×デジタル×紙」を実現するクロスメディア展開で顧客満足度を高めるツールを紹介する。

創業以来、オフセット印刷を軸に技術革新に取り組んできた同社では、市場環境の変化に対応するため、オフセットからデジタルへの転換を図り、可変印刷に特化した小ロット印刷分野で印刷物の価値創造を高めている。

昨年8月にはB2サイズインクジェットデジタル印刷機「Jet Press 720S」を導入し、「インクジェットデジタル印刷機で想像性の高い仕事」への取り組みを開始。

「印刷機を持ったサービスプロバイダー」を経営方針に掲げ、事業領域の拡大に取り組んでいる同社では、同機の導入を機にストーリー仕立ての連続ポスター「レンポス」を商品化した。

「レンポス」は、動画や映像では伝えることのできない瞬間をストーリー仕立てのポスターにするサービスであり、さまざまな展開が可能なB2サイズのバリアブル印刷連続ポスターとして、ストーリー性のある大型ポスターを連続で貼ることでインパクトはもちろん、高い訴求性が創造できる。オリジナルカレンダーで12枚の画像を組み合わせることでオリジナルのカレンダーが作成できる。

同社では、1時間2700枚を全て違う絵柄で印刷することができる設備を導入したことで大型インクジェット出力機の1/3、オフセット印刷機の1/20の価格で提供する体制を整えている。同サービスは1部から発注でき、急ぎの場合もデータ入稿日から最短1日で仕上げられる。

このほかにも、同社では「紙で伝えてデジタルで返す」をキャッチコピーに「ターゲット名刺」のサービスを提供。

同サービスは、大型ポスター、DMハガキやチラシなどの可変印刷物に特別なQRコードを印字することで流入先を特定し、印刷物を受け取った顧客の反応を解析できるもの。デジタルメディアを融合させ、より効果的にコミュニケーションシナリオを高度化していくことが可能となる。

さらに、オリジナル汎用アプリ「ARUNO」では、印刷物に仕掛けられたARコンテンツの面白さが消費者の興味を引き、アプリダウンロードを促進。SNSへの口コミ拡散、「PUSH通知」で追客、消費者へ断続的なアプローチを実現し、「消費者の行動分析」からプロモーションを検証・改善・展開するPDCAサイクルで費用対効果が向上できる。

同社では新たなクロスメディアソリューションで消費者との関係を強力にサポートする体制を整えている。

デジタルグラフィック　販促活動を支援する商品　エコスクラッチが好評得る

「エコスクラッチ」の商品一例

デジタルグラフィック株式会社（神戸市中央区）は好評を得ている従来の銀スクラッチとは異なった削りカスを出さないスクラッチ印刷「エコスクラッチ（商標登録済）」をはじめ、販促活動を支援するツールを出展する。

同社が開発した「エコスクラッチ」は、環境を配慮し削りカスを出さないことと、従来のスクラッチでは不可能な短納期対応を最大の特長としており、当該箇所を10円硬貨でこすることによって、従来のスクラッチと同様の効果を得ることができるもの。

通常のスクラッチと違い極小ロットからでも発注が可能。急なイベントや納期に間に合わないなど、通常の銀スクラッチでは不可能なことも可能になる。

手軽に製作できる利点を生かして各種イベント企画や企業・商店の顧客サービスにと利用範囲は無限大となっている。

インキとスクラッチ部分のカモフラージュにさらなる改良を加え、他社類似製品ではブラックライトを照らすことで、スクラッチ部分が透過してしまう欠点があるが、「エコスクラッチ」ではブラックライトに照らしても透過しない対策が標準で施されている（顧客のご要望によっては従来通りブラックライトに透過する対応も可能）。

開発当初は紙質をマットコートのみに限定していたが、改良を施したことにより、上質紙への対応も実現。

同時に、官製ハガキへの印刷では単判ハガキしか存在しないインクジェット紙のみでしか対応できなかったが、4丁判の官製ハガキが存在する再生紙への印刷が可能になったことでコストダウンを成功させ、顧客へのより安価な提供を可能としている。

主な特長は次の通り。

■削りカスが出ない

特殊技術により、従来の銀スクラッチの弱点だった削りカスをなくすことに成功。手が汚れず、ゴミも出ない。

■低価格で高品質を実現

これまでのスクラッチといえば、表面の銀インクを削るものが主流であり、銀スクラッチの場合はオフセット印刷工程にシルク印刷とニス引きの工程を必要としていたが、同製品では通常のオフセット印刷工程のみで完成するため、従来必要であったシルク印刷とニス引きの工程を省くことができる。

■納期が短い（最短5日で納品）

従来の銀印刷にかかっていた手間をそのまま省けて画期的な短納期を実現する。

サンクラール　特殊箔印刷技術を披露　出来ないを出来るに変える

有限会社サンクラール（矢田幸史社長）は、特殊箔印刷技術「Sプリズムプリント」の魅力を「JP2019・ICTと印刷」で披露する。

同社は大阪市東成区にある創業43年のオフセット印刷会社であり、「出来ないを、出来るに変える会社、サンクラールの技術で世の中をもっと面白くしたい」を経営理念として、ものづくりのエキスパート集団を目指して事業を展開している。

同社の売りは和紙や特色、特殊インキを使った他社が敬遠する印刷物を進んで受けるという高い印刷技術と、ありとあらゆる加工技術を使いこなすところにある。

日々進化する技術によって、さまざまな表現を可能にしてきた印刷の世界にあって同社では、より価値の高い印刷物を実現するために、ありとあらゆる技法を知り、駆使することで、その可能性を追求し続けている。そうして誕生した技法として箔を使った特殊印刷加工技術「Sプリズムプリント」である。

この技法は、印刷後に箔を押す通常の箔加工とは異なり、箔の上に印刷することで箔の多色化とグラデーションを2工程で実現することはもちろん、他に類を見ない圧倒的な特長を放つのが、熟練技術者の匠の技によって施される精緻で自由なエッチングデザイン。

立体表現や光の動きをコントロールするという、他には真似のできない技術であり、見る角度によって色変化を起こさせる、これまでにない唯一無二の印刷物を創り出すことができる。

この匠の技が秘める無限の可能性を同社では豊富なノウハウに基づくプリンティングディレクションによって最大限に引き出し、従来の印刷を超える新たな表現世界を提案している。

加藤製本　受注競争から脱却する製品　加飾技術で紙の魅力表現

マカロンの形をしたユニークな付箋などを披露する（右から加藤社長と企画室の笠井さん）

加藤製本株式会社（東京都新宿区）は、自社開発した販促アイデア関連商品として①レーザー加工品②PUR製本③バリアブル製本品④ステーショナリーを出展し、新しい紙の価値を提案する。

1941年の創業以来、革新的な製本技術を確立することで顧客ニーズへの対応を図ってきた同社では、2005年に国内初となるPUR製本技術を採り入れ、2008年にはアジア初となるPUR上製本を商品化することに成功し、世界各国から注目を集めている。

初出展となる「JP2019・ICTと印刷展」では、これまでに採用されたPUR製本のサンプルを展示し、PUR製本が印刷物の付加価値創造につながり、営業ツールとして活用できることを来場者に呼びかける。

一方、同社では一昨年7月にシート対応のレーザーダイカットシステム「PAPERONE5000」を導入するとともに、デジタル印刷機とニス加工機を導入し、加工技術をコアとする販促アイデア商品を市場に提供する体制も整えている。

新しい紙の価値としてペーパードレスを作成

同機の導入に際して加藤隆之社長は、社内に「デザイン室」を設置し、プロダクトデザインができる人材3名を配置。以来、商品開発に取り組み、マカロンや動物を模したユニークな付箋、木材に微細な加工を施した御朱印帳などを商品化したところ、両製品ともに注目を集めることとなった。

最近ではレーザーダイカットシステムを活用して紙で作ったドレスも作り上げたほか、主に女性をターゲットにした紙の新たな機能性を活かしたアイデア商品を市場に投入し、好評を得ている。

「単に受注競争をするのではなく、差別化を図るための付加価値を高めた商品が作れればと考えてきましたが、導入から1年が経過し、アイデア商品として具体的な提案ができる体制が整ってきました。

レーザー加工機は、アイデア次第でいろんなパターンの商品が作れます。当社では商品価値の高いものを作ることがアドバンテージになると考え、出来上がった商品をブランド化していきたいと考えています」と加藤社長は語っている。

人の集まるイベントで効果抜群

Business Supply Item
プロモバッグ
PROMOTION BAG

手軽に受取る
もって帰る
そして歩く宣伝広告で
PR効果を発揮！

4つの特長が販促活動のリピートに繋がる！
✓経費削減
●小ロットなら従来のポリ袋より断然安い！
✓小ロット
●規格袋を在庫しているため500枚からの受注！
✓短納期
●スピーディーな生産体制で納期に対応！
✓フルカラー
●UV印刷で綺麗なオリジナルバッグを提供！

株式会社チャレンジファイブ
本社・大阪支店 / 本社工場
〒557-0063 大阪府大阪市西成区南津守 6-8-26
TEL：06-661-8800 FAX：06-6651-8787
東京支店 / 関東工場
〒130-0023 東京都墨田区立川 1-717 藤枝ビル
TEL：03-5625-3210 FAX：03-5625-3215
■データ入稿用アドレス
大阪支店 — e-mackun@c-5.co.jp
東京支店 — e-mac@c-5.co.jp
http://www@c-5.co.jp

マーケティング Marketing × デジタル Digital × 紙 Paper

お客様（教育・学校関係等）／少子化による印刷物の多様化 > マーケティング予測分析

インクジェットデジタル印刷機で想像性の高い仕事
オンデマンドデジタル印刷機で生産性の高い仕事

■「ものづくり・商業・サービス経営力向上支援補助金」採択3回（平成29年度・26年度・24年度）　■経営力向上計画 認定
■先端設備等導入計画 認定　■「全日本印刷工業組合連合会」環境推進工場 認定／JPPS 認定／CSRワンスター 認定

兵田印刷工芸株式会社　TEL.0798-47-3501／FAX.0798-41-3713　e-mail：info@hyoda.com　www.hyoda.com